請願・陳情　文書表

８・２定　　陳情第５７号

受付年月日	８．　５．１９	付託委員会	民　　生
提　出　者	●●●●●●●●●●●●●●　●●●●●●●●●●●●●●		
紹介議員	－		
提出者からの説明希望の有無		有・無	
件　名　と　要　旨			

（件　名）

熊の無差別駆除の即時停止及び共生政策の実施について

（要　旨）

近年、人間による森林伐採や開発によって、熊たちの生息環境は著しく破壊されている。ひのき・杉人工林の拡大やメガソーラー建設などにより、熊のすみかや食糧が失われ、人里に降りてくる原因となっている。こうした状況下で熊たちは、日々を必死に生き抜いている。

しかし現在、子熊や泳いで渡る熊、冬眠中の熊を含む熊たちを対象に、無差別な駆除（春熊駆除）が計画されており、これは倫理的にも、動物福祉の観点からも許されるものではない。

ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）の理念にのっとり、熊を殺すのではなく保護し、野生動物が生き延びる環境を再生する努力を求め、具体的には以下の施策を提案する。

１　熊を安全に山へ戻す施策の徹底
２　森林の再生や果実の実る自然環境の復元
３　電気柵や境界線の強化による人間との共存環境の整備
４　人間による廃棄物（野菜・果物など）の一部を利用した共生策の検討

これらにより、人里に降りてくる熊を減らすとともに、熊を含む野生動物との共生が可能となる。残酷な駆除ではなく、科学的・倫理的に妥当な方法を用いることが、地域社会と自然環境の持続可能性を高めると考える。

以上の趣旨から、次の事項について陳情する。

陳情事項

１　熊の無差別駆除の即時停止と、野生動物との共生を目指す政策を検討・実施すること。